

ドコモ回線の格安SIMおすすめランキング 選定・評価基準について

サイト名：モンスターメディア

対象記事：「ドコモ回線の格安SIMおすすめランキング！系列含む18社を通信速度の速さなどで徹底比較」
本資料は、掲載ランキングの透明性を高めるため、対象サービスの選定条件・採点項目・総合評価の算出方法を整理したものです。

01 料金の安さ 月額・初期費用・通話料を総合評価	02 通信速度 実測値と混雑時間帯の快適さを重視	03 繋がりやすさ ドコモ回線のエリア・屋内・地方で評価	04 サポート体制 店舗・チャット・FAQの使いやすさ	05 独自特典 繰り越し・端末割・カウントフリー等
--	---------------------------------------	---	--	--

モンスターメディアでは、ドコモ回線の格安SIMを検討する読者が、自分の利用目的に合うサービスを選べるよう、客観的な評価項目と明確な採点基準に基づいてランキングを作成しています。月額料金の安さだけでなく、通信速度、繋がりやすさ、サポート体制、独自特典を総合的に評価します。

1. ランキング対象サービスの選定基準

選定条件	詳細内容
ドコモ回線への対応	公式サイトやサービス資料で、ドコモ回線プラン、ドコモサービスエリア、またはドコモ系列の通信サービスとして確認できること。
一般利用者が申込可能	公式サイト、店舗、提携窓口、オンライン申込などを通じて、日本国内の一般ユーザーが契約できること。
比較に必要な情報の公開	月額料金、データ容量、初期費用、通話料、対応回線、サポート内容、キャンペーン等の主要情報が公開されていること。
スマホ回線としての実用性	音声通話SIM、eSIM、データSIMなど、日常利用を想定できるスマホ向け通信プランを提供していること。
比較上の独自性	データ繰り越し、カウントフリー、端末割引、店頭サポート、通話定額、支払い方法など、読者の選択に影響する特徴があること。

2. 評価項目と重要度

本ランキングでは、ドコモ回線の格安SIM選びで後悔につながりやすい「通信速度」と「繋がりやすさ」を最重要項目として扱います。

評価項目	評価のポイント	重要度
料金の安さ	月額基本料金、データ容量あたりの料金、事務手数料、SIM発行料、通話オプション、セット割適用後の実質負担を評価。	重要
通信速度	理論値ではなく、平均下り速度、Ping値、昼休みや通勤時間帯の混雑耐性、動画視聴やQR決済の快適さを評価。	最重要
繋がりやすさ	ドコモ回線の対応状況、対応エリア、プラチナバンド、複数回線選択可否、屋内・地方・地下での安定性を評価。	最重要
サポート体制	店舗サポート、提携窓口、電話、チャット、FAQ、初期設定サポート、初心者でも解決しやすい導線を評価。	標準
独自特典・メリット	データ繰り越し、データシェア、カウントフリー、ポイント還元、端末セット割、海外利用、支払い方法の柔軟性を評価。	重要

3. 各項目の採点基準（5点満点）

5点に近いほど、読者が「契約後に満足しやすい」と判断できる状態です。特に通信速度・繋がりやすさは、昼休みや外出先での実用性を重視して評価します。

1. 料金の安さ

点数	評価の目安
5.0	小容量・中容量ともに業界最安級。初期費用、通話料、セット割、キャンペーンを含めても総負担が非常に低い。
4.0	主要容量の料金が平均より安く、初期費用や通話オプションも過度な負担にならない。
3.0	料金は標準的。突出した安さはないが、容量や機能とのバランスは取れている。
2.0	月額料金、初期費用、通話料のいずれかが高めで、節約目的では選びにくい。
1.0	料金が高い、条件が複雑、または一般的なスマホ代節約に向きにくい。

2. 通信速度

点数	評価の目安
5.0	キャリア本家品質または実測値が非常に高く、昼休みや夕方でも動画視聴・SNS・QR決済を快適に使いやすい。
4.0	平常時の実測速度が良好で、混雑時もWeb閲覧や標準画質動画なら大きな支障が出にくい。
3.0	平常時は標準的に使えるが、12時台など混雑時間帯は速度低下に注意が必要。
2.0	混雑時に1Mbps前後またはそれ以下まで落ちやすく、動画やゲームではストレスが出やすい。
1.0	低速運用が中心、または実測データが乏しく、メイン回線としての快適性を判断しにくい。

3. 繋がりやすさ

点数	評価の目安
5.0	ドコモの広いエリアを安定して使いやすく、地方・屋内・地下でも繋がりやすい。5Gやプラチナバンド面でも安心感が高い。
4.0	ドコモ回線に対応し、端末との相性を確認すれば多くの地域で安定して利用できる。複数回線から選べる場合も高評価。
3.0	ドコモ回線対応だが、利用端末やエリアによっては事前の動作確認が必要。
2.0	対応エリアや端末の条件に注意が必要で、屋内・山間部・地下などで不安が残る。
1.0	対応回線やエリア情報が十分に確認できず、安定利用の判断が難しい。

4. サポート体制

点数	評価の目安
5.0	全国規模の店舗・電話・チャット・FAQが整い、初期設定やトラブル時に初心者でも相談しやすい。
4.0	一部店舗や提携窓口があり、オンラインサポートも分かりやすい。
3.0	チャット、メール、FAQなどWeb中心の標準的なサポートが用意されている。
2.0	サポート手段が限られ、問い合わせまでの導線や解決力に不安がある。
1.0	サポート情報が少ない、または契約後の自己解決が前提になりやすい。

5. 独自特典・メリット

点数	評価の目安
5.0	データ繰り越し、カウントフリー、端末割引、海外利用、ポイント還元など、他社より明確に強いメリットが複数ある。
4.0	特定の用途で選ぶ理由になる独自機能や特典がある。
3.0	標準的な便利機能はあるが、他社との差別化は限定的。
2.0	独自性が弱い、または特典の適用条件が狭い。
1.0	目立った独自機能や読者メリットが確認しにくい。

4. 総合スコアの算出方法

本ランキングでは、単純な合計点ではなく、格安SIM選びで満足度を左右しやすい項目に重みを付けて総合評価を算出します。ドコモ回線を選ぶ読者にとって特に重要な「通信速度」と「繋がりやすさ」は2倍で評価します。

$$(\text{料金の安さ} \times 1.0 + \text{通信速度} \times 2.0 + \text{繋がりやすさ} \times 2.0 + \text{サポート体制} \times 0.5 + \text{独自特典} \times 1.5) \div 7 = \text{総合評価}$$

項目	重み	重視する理由
料金の安さ	1.0	格安SIM選びの基本条件。ただし安さだけで選ぶと通信品質で後悔しやすいため標準評価。
通信速度	2.0	昼休みや夕方に使えないと満足度が大きく下がるため、最重要評価軸として加重。
繋がりやすさ	2.0	ドコモ回線を選ぶ大きな理由であるエリアの広さ・屋内や地方での安定性を重視。
サポート体制	0.5	低価格なオンライン専用サービスも比較対象に含むため、評価に入れつつ重みは控えめに設定。
独自特典	1.5	データ繰り越し、端末割引、カウントフリー、海外利用など目的別満足度を左右するため加重。

総合評価は小数第1位までを基本に表示します。キャンペーンの終了、料金改定、速度データ的大幅変動があった場合は再評価します。

5. 評価対象サービス一覧

順位	サービス名	主な評価ポイント
1位	ahamo	30GB + 5分無料通話込み。ドコモ本家品質の高速通信と繋がりやすさを高く評価。
2位	mineo	パケット放題サービス、フリータンク、3キャリア対応など独自性が強い。
3位	IIJmio	低価格プラン、端末セット割、データ繰り越し・シェアのバランスが良い。
4位	NUROモバイル	豊富な容量プランとSNSデータフリーなど、用途別に選びやすい。
5位	HISモバイル	100MB未滿280円、通話料30秒9円など、少容量・通話重視で強い。
6位	イオンモバイル	全国のイオン店舗で相談しやすく、容量を細かく選べる。
7位	LIBMO	ドコモショップで手続きしやすく、TOKAIグループ系の特典も活用できる。
8位	BIGLOBEモバイル	エンタメフリーにより、動画・音楽系サービスを多く使う人に向く。
9位	だれでもモバイル	クレジットカードなしでも契約しやすく、かけ放題込みの設計が特徴。
10位	リンクスメイト	対象ゲームやSNSのデータ消費を大幅に抑えられるカウントフリーが強み。
11位	トーンモバイル	子ども向け見守り機能と動画以外の使い放題設計を評価。
12位	y.u mobile	余ったギガを有効期限なしで貯められる点が大きな独自性。
13位	DTI SIM	縛りの少ないシンプルな定額プランを評価。
14位	QTモバイル	九州電力・BBIQとの連携割引や九州エリアの店舗相談が特徴。
15位	誰でもスマホ	独自審査と24時間かけ放題込みの設計を評価。
16位	you me mobile	紹介制度によって月額負担を抑えられる独自性がある。
17位	BB.exciteモバイル	使用量に応じた段階制プランで、無駄な固定費を抑えやすい。
18位	ロケットモバイル	低速中心の神プランとパースト機能により、維持費を抑えたい人向け。

6. 調査概要

調査項目	内容
調査対象	ドコモ回線に対応、またはドコモ回線系列として比較対象に含めた国内向け格安SIM・オンライン専用プラン18社。
参照データ	各社公式サイト、料金表、キャンペーンページ、サポートページ、FAQ、動作確認端末ページ、公開されている通信速度レポート。
確認項目	月額料金、データ容量、初期費用、通話オプション、対応回線、通信速度、速度制限時の仕様、サポート体制、独自特典。
調査時期	2026年7月1日時点
評価主体	モンスターメディア編集部
更新方針	料金改定、キャンペーン変更、サービス仕様変更、通信速度データの大幅な変動が確認された場合に随時見直し。

7. 免責事項

本資料は、ランキングの透明性を高めるための評価基準であり、特定サービスの契約を保証・強制するものではありません。最終的な申込判断は、利用者自身の利用環境と公式サイトでの最新情報を確認したうえで行ってください。

項目	内容
評価の性質	本ランキングは、モンスターメディア編集部が独自に定めた評価基準に基づく比較です。すべての利用者と同じ満足度、通信品質、料金メリットを保証するものではありません。
通信速度について	通信速度は、利用する地域、時間帯、端末、建物環境、基地局の混雑状況、契約プラン、通信制限の有無によって変動します。掲載評価は調査時点で確認できる情報をもとにした目安です。
料金・キャンペーンについて	月額料金、初期費用、キャンペーン、ポイント還元、端末割引、特典条件、事務手数料、通話オプションは予告なく変更・終了する場合があります。申込前に必ず公式サイトで最新条件を確認してください。
対応端末・エリアについて	同じドコモ回線対応サービスでも、利用端末の周波数帯、SIMロック、eSIM対応、OSバージョン、APN設定により利用可否や通信品質が変わる場合があります。契約前に各社の動作確認端末一覧と対応エリアを確認してください。
サポートについて	店舗サポートの有無、対応範囲、手数料、受付時間、問い合わせ方法はサービスごとに異なります。初期設定やトラブル対応を重視する場合は、契約前にサポート窓口の内容を確認してください。
広告・アフィリエイトについて	本記事では一部サービスについて広告リンクを掲載する場合があります。ただし、評価基準では広告提携の有無だけで順位を決定せず、料金、通信品質、繋がりやすさ、サポート、独自性を総合的に評価しています。
情報更新について	記事公開後に料金改定、プラン変更、キャンペーン終了、通信品質の変化、サービス提供条件の変更が発生する可能性があります。大きな変更を確認した場合は、必要に応じて内容を見直します。
損害等について	本資料および記事の情報を利用したことによって発生した契約上の不利益、キャンペーン適用外、端末非対応、通信品質への不満などについて、当サイトは責任を負いかねます。